



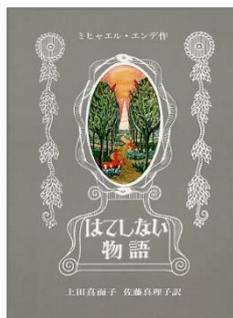
2021年2月号

L.N.

ライブラリー・ニュース

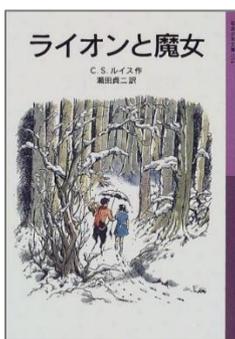
2-6 2-6

発行 図書委員会 担当 嶋崎・嶋田・司書



『はてしない物語』ミヒャエル・エンデ著（岩波書店）

読書が好きなバスチアン・バルタザール・ブックスはある日、いじめられて逃げ込んだ古本屋さんで『はてしない物語』という本を盗んで、こっそりと読み始める…。『はてしない物語』という本の世界とバスチアンの世界とがつながっていくのが、とてもドキドキわくわくして面白い本です。



『ナルニア国ものがたり』C.S.ルイス著（岩波少年文庫）

ある日、一緒にかくれんぼをしていた4人の子どものうちのルーシーが毛皮のコートの中に入っていくと、そこには異世界が広がっていた。そこは100年間「白い魔女」によって冬にされた世界だった。

子どもたちがその「ナルニア」という世界で冒険していくのも、とてもわくわくするし、大きな敵に勇敢に立ち向かっていくのが、とても熱くなれる本です。



『Re:ゼロから始める異世界生活』長月達平著（MF文庫J）

突如、異世界に召喚された主人公は、そこで出逢った女の子の死の運命を覆す為に自ら何度も「死」に挑む。



『夜行』森見登美彦著（小学館文庫）

京都で学生時代を過ごした仲間だった私たち六人。

十年後、鞍馬に集まった私たちは、もう一度彼女に会いたかったのだ。夜が更けるなか、それぞれが旅先で出会った不思議な体験を語り出す。

「夜はどこにでも通じているの。世界はつねに夜なのよ。」